
善の崩落

是廼昂

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

善の崩落

【Nコード】

N7015N

【作者名】

是迺昂

【あらすじ】

悲惨な日常を過ごす、主人公の少年。
家族ともいえる人たちが、殺されていく。
ある日、その殺人犯の正体がわかった少年は、殺人犯を殺しに行く。
これは、善が崩れ悪が栄える物語

第一話 プロローグ

少年は、親を殺された。

初年は、施設に入らず、必死に生き続けた。

ある日、少年はある老夫婦に拾われた。

老夫婦は、少年を孫のように可愛がった。

ある日、突然老夫婦は殺された。

親を殺した、同一人物が殺したと知った。

少年は、幸福を忘れた。

少年は、幸福の代わりに、不幸を覚え、それはやがて、恨みに変わる。

恨みを覚えた少年は、堕ちる。

そして、恨みは、復讐心に乗せられて、復讐心に乗せられた少年は、崩れ行く。

崩落する。

何もかも。

心も。

体も。

精神も。

何もかもが崩落した少年は、希望を失い、絶望の中で生きていく。
絶望はやがて、行き場を失い、少年には何も残らない

第二話 始まりの鐘

ゴーン、ゴーン、ゴーン…

少年の家の前に立つ、教会の鐘の音が響く。

この鐘は、婚礼の鐘でも、日の出を伝える鐘でもない。
ましてや、除夜の鐘でもない。

この鐘は、人の死を伝える鐘。

「お母さん、お父さんは、どうして返事をしてくれないの？」

「…ジラルド…。お父さんは、死んだのよ」

「嘘だよ。昨日まで、一緒にご飯食べてたじゃないか」

まだ、幼いジラルドには、目の前の光景はよくわからなかった。

昨日まで、頭をなでてくれた、優しいお父さん。

だれよりも強くて、格好いいお父さん。

そのお父さんが、ある日、突然？殺された？

『気の毒に…。息子さん、まだ三つだろ？』

『なんでもむごい殺され方だったそうよ？』

父の死を目撃したのは、ジラルドだった。

目はえぐり取られ、腹は斬られ、腸はどころちぎられていた。
だけど、ジラルドは、まだ幼かった。

だから、それで、お父さんが死んでるなんて解らなかった。

それは、ちょうど十二年前のことだった

ゴーン、ゴーン、ゴーン…

また、ジラルドの家の前の教会の鐘が鳴り響く。
これもまた、除夜の鐘でも、婚礼の鐘でもない。
人の死を知らせる鐘だ。

今度は、ジラルドの母だった

「…お母さん…」

それ以外、何も言わなかった。

殺され方は、父と同じ。

それは、ちょうど二年前のことだった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7015n/>

善の崩落

2010年10月10日11時10分発行